

新宮山彦ぐるーぷ第2225回

## 行仙宿にテーブル増設とモノレール延長ルートの仮設定

実施日 3月29日(水) 晴

参加者 沖崎吉信、梶野照雄 2名

3月26日に予定していた玉置辻↓山在峠の巡視整備は雨のため中止になった。天気予報は27日から暫く安定したお天気が続くとなった。沖崎さんから、モノレール延長ルートにロープをつける、と聞かされ、同時に行った。



満開の桜



テーブル増設場所



整地する

午前10時に登山口に着く。沖崎さんはすでに到着していてモノレールもシートが外されてスタンバイしていた。

テーブル脚のアルミ材や缶ビール一箱などを積み込み登りだす。

モノレール終点からすぐ上の崩れている箇所には架かっていた木橋は15mほど下方に落ちてしまっていた。

アルミ材と工具等を合わせると14kgほどになり、ゆっくりと歩いて11時に行仙宿に着いた。

すぐにテーブル増設に取り掛かる。テーブルの天板は内野井君が2枚とも持ち上げてくれたので、アルミ材の足を組み立てるだけで完成する。村吉さん作のテーブルの南側に置かれていた丸太を取り除き、トンガを使って簡単に整地した。



テーブル完成



本日の参加者



組み立てた脚を置いて水平に近づくように調整する。沖崎さんを手伝ってもらってコンクリート板の上に置いて完成。50分の作業だった。

テーブル周りを片付け、小屋で昼食を摂る。食後、午後1時前に小屋を後にした。

沖崎さんはモノレールのルート設定用に、100m巻のポリロープを3巻用意していた。



仮ルートにロープを張る

下山

21番鉄塔横から補給路の北側を通って、送電線沿いに第2ベンチ迄下りながらロープを伸ばしていった。第2ベンチからは補給路南側の尾根を辿り、モノレール終点の少し先までのルートを設定した。使ったロープは2巻と少々で、200数十メートルになる。

このままのルートを通るとすると200mは確実に歩かずに済むことになる。問題点は第2ベンチ付近とモノレール終点付近で登山道を横切る形になることだ。レールの地上高は30cm程あるとみられるので、少々歩きづらい状況が生じる。

モノレールの仮ルート設定はすんなりと終わり、午後1時下山解散した。

(記：梶野)

### 行動タイム

10:00 補給路登山口 10:10→11:00 行仙宿 12:50→13:45 補給路登山口